

PALTEK

(JASDAQ:7587)

2010年12月期 決算説明会

2011.2.9 (水)

- ① 2010年12月期 業績結果
- ② 2011年12月期 業績予想
- ③ 今後の取り組みについて




2010年12月期 業績結果



2010年12月期の総括

総 括

- 市場環境は輸出の回復、経済刺激策、スマートフォンなど新しい製品に刺激され、回復基調
- 収益は大幅に改善
 - PLD売上の拡大
 - 合理化推進により損益分岐点が改善
 - 円高継続
 - スマートエネルギー分野への活動推進
- ナショナル セミコンダクター社との契約解消発表
(契約は2011年3月31日まで)


2010年12月期 業績結果

(百万円)	2009年	2010年	増減額	増減率	主な増減理由
売上高	14,762	16,499	1,737	11.8%	産業機器向けPLDが堅調に推移
売上総利益	2,383	2,864	480	20.2%	PLDの売上が増加したこと、為替が円高基調であったこと等を受け、売上総利益率は上昇
売上総利益率	16.1%	17.4%	1.2	—	
販管費	2,566	2,541	△24	△1.0%	
営業利益	△182	322	505	—	
営業利益率	△1.2%	2.0%	3.2	—	
経常利益	△103	448	551	—	為替差益132百万円を計上
当期純利益	△60	238	298	—	

FYE2010 Results Reporting

5

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

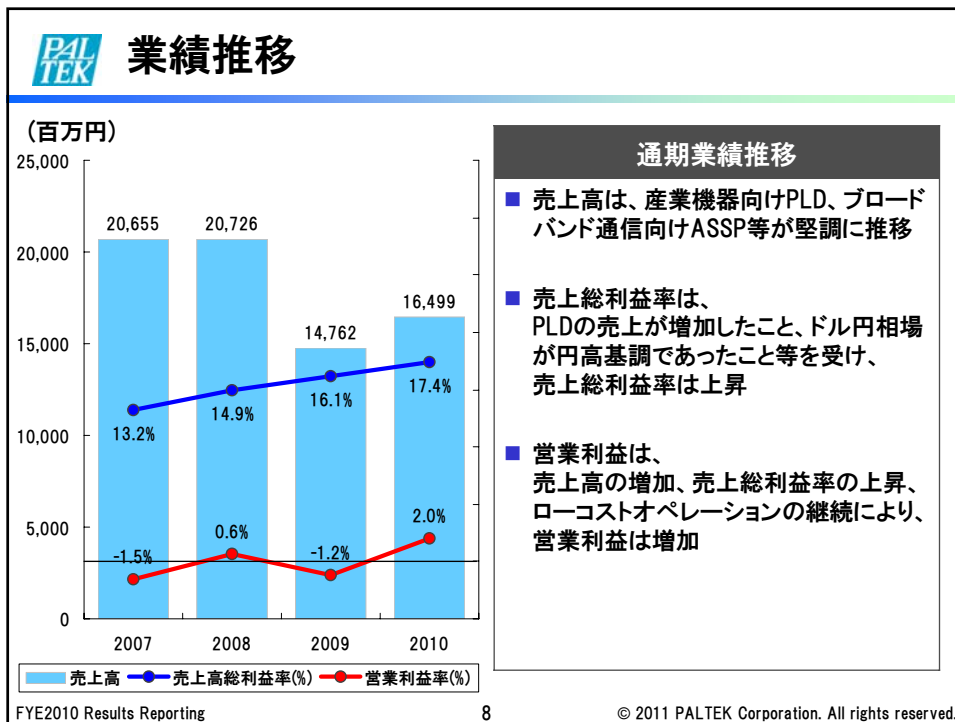
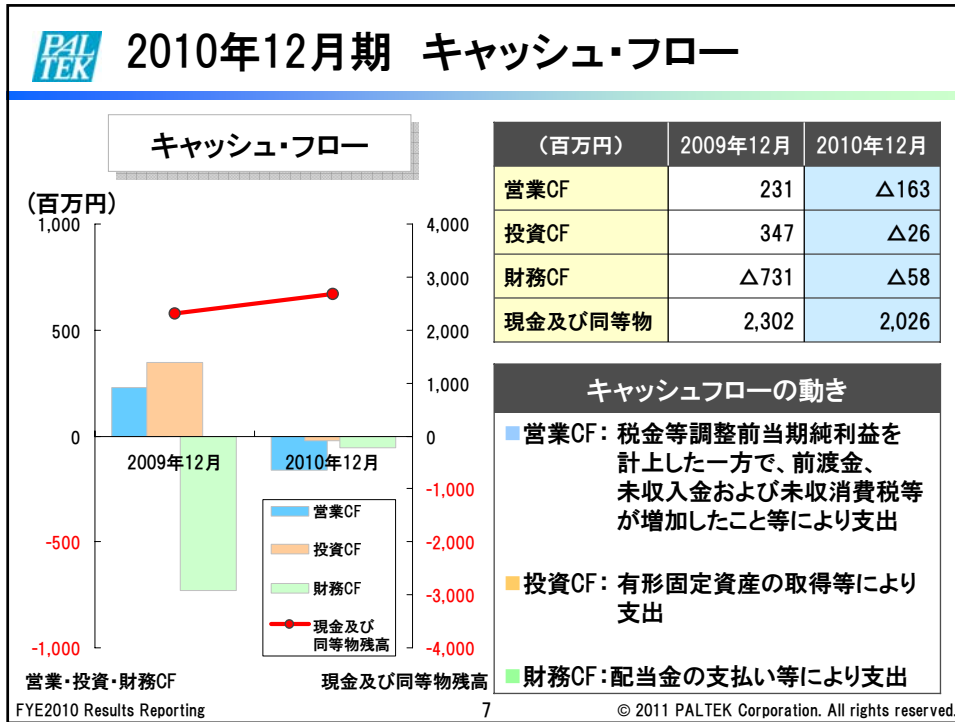

2010年12月期 貸借対照表

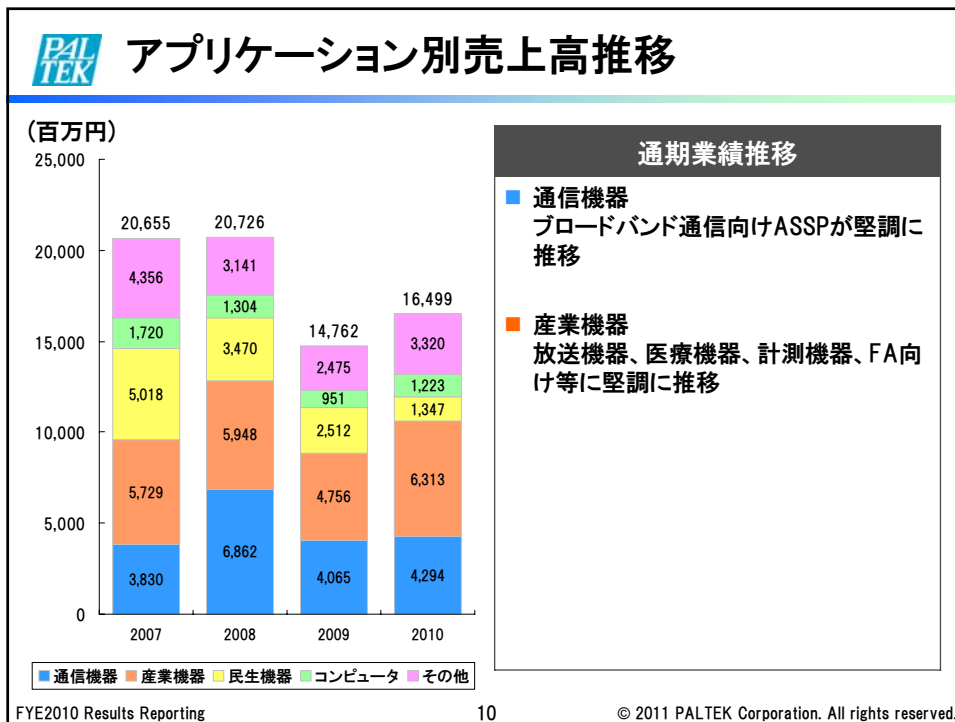
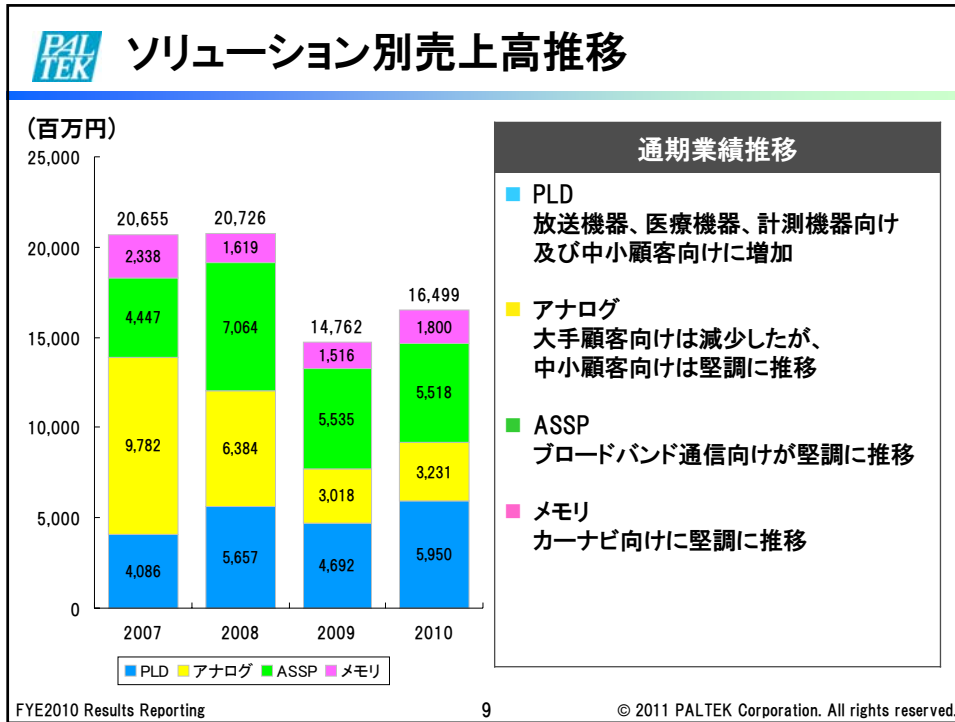
	(百万円)	2009年	2010年	増減額	主な増減理由
資産内訳	現金及び預金	2,302	2,026	△276	
	売上債権	3,544	3,485	△59	
	商品	1,590	1,635	44	
	その他流動資産	973	2,160	1,186	前渡金、未収消費税が増加
	固定資産	690	467	△223	
資産合計		9,102	9,774	671	
負債純資産内訳	仕入債務	498	566	68	
	短期借入金	—	—	—	
	その他流動負債	465	888	423	前受金が増加
	固定負債	233	234	1	
	純資産	7,905	8,084	178	
負債・純資産合計		9,102	9,774	671	

FYE2010 Results Reporting

6

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.







2

2011年12月期 業績見通し



2011年12月期について

■ 市況について

- 経済刺激策の反動による消費低迷、企業の設備投資が低調等で、上半期は低調。下半期はスマートフォン等の新分野の成長に期待

■ 業績について

- ナショナル セミコンダクター社との販売代理店契約2011年3月末で終了するため、アナログ半導体ビジネスは減少するが、PLD及びASSPビジネスについては業績は拡大

■ 強みである技術力をベースに

- 既存ビジネスの拡大
- 新規取扱商材の拡充
- スマートグリッド事業の本格立ち上げ
- デザインサービス事業(受託設計事業)の強化

PALTEK 2011年12月期 業績予想

通期業績予想

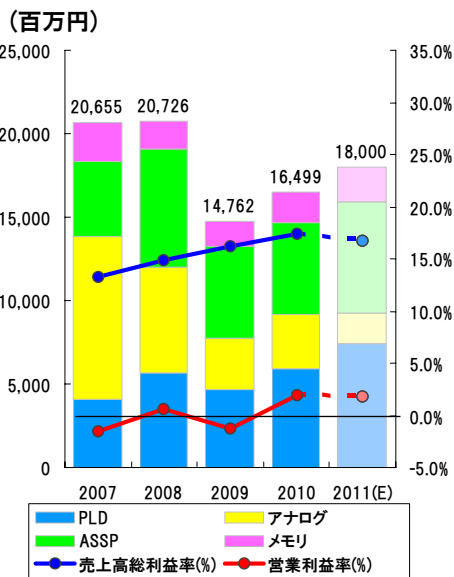
(百万円)	2010年12月期 実績			2011年12月期 予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	8,021	8,478	16,499	8,000	10,000	18,000
売上総利益	1,406	1,457	2,864	1,375	1,640	3,015
売上総利益率	17.5%	17.2%	17.4%	17.2%	16.4%	16.8%
販管費	1,259	1,282	2,541	1,335	1,350	2,685
営業利益	147	175	322	40	290	330
営業利益率	1.8%	2.1%	2.0%	0.5%	2.9%	1.8%
経常利益	186	262	448	30	270	300
当期純利益	95	142	238	18	162	180

FYE2010 Results Reporting

13

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

PALTEK 業績見通しの推移



通期業績の見通し

- **売上高**
アナログについては、ナショナルセミコンダクターとの代理店契約が3月末で終了することを受け減少するが、PLD及びASSPが堅調に増加する見通し
- **売上総利益率**
下期に量産案件が立ち上がるため、売上総利益率は低下する見通し
- **営業利益**
売上総利益率の低下及び人員増等による経費の増加により、営業利益率は若干低下する見通し

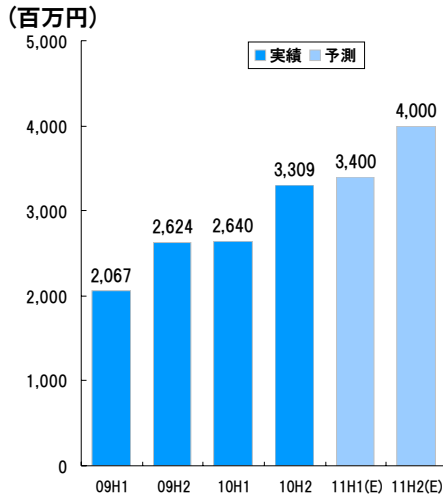
FYE2010 Results Reporting

14

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

各ソリューションにおける事業展開①

PLDソリューション



通期業績の見通し

- 大手顧客については、通信インフラ、放送機器向けが堅調に推移する
- 中堅顧客については、過去にデザインしていた放送機器、医療機器、計測機器等の案件が堅調に推移
- 中小顧客向けに販売を強化
- PLD未使用の市場に対して、開発案件の発掘を推進し、試作等への提案を加速

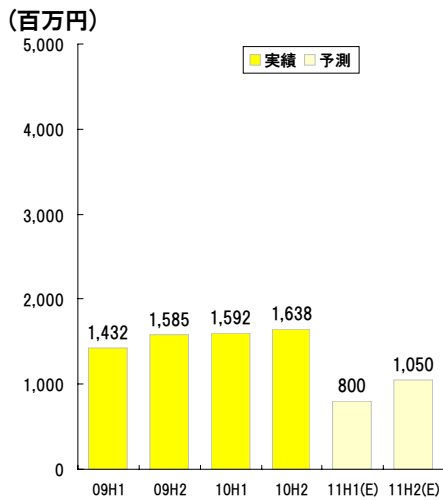
FYE2010 Results Reporting

15

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

各ソリューションにおける事業展開②

アナログソリューション



通期業績の見通し

- 第1四半期までは、ナショナル セミコンダクター社製品の販売を継続
- すでに獲得済みのアナログ新規商材の立ち上げに注力
- アナログ新規商材の獲得

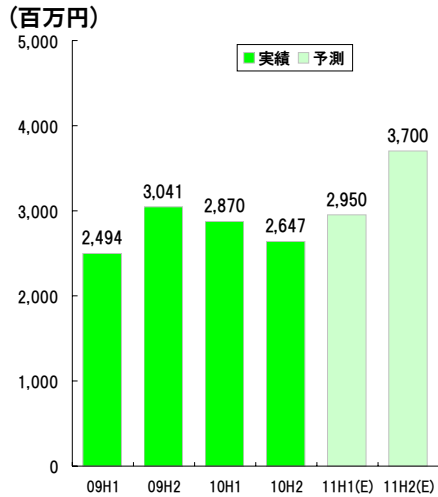
FYE2010 Results Reporting

16

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

PAL **TEK** 各ソリューションにおける事業展開③

ASSPソリューション



通期業績の見通し

- 年後半に向けて、携帯情報端末向け製品の立ち上がりを見込む
- 2010年度に新たに販売代理店契約を締結した製品が立ち上がってくる
- ASIC等の量産案件増加を見込む

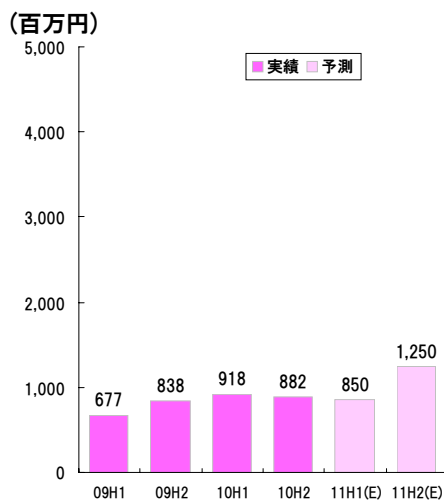
FYE2010 Results Reporting

17

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

PAL **TEK** 各ソリューションにおける事業展開④

メモリソリューション



通期業績の見通し

- 2010年にマイクロン社が買収したフラッシュメモリ・ベンダであるニューモニクス製品(NOR型フラッシュ・メモリー)等の新しい領域へ販売開始

FYE2010 Results Reporting

18

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.



今後の取り組みについて

今後に向けて

- 既存ビジネスの拡大
- 新規取扱商材の拡充
- スマートグリッド事業の本格立ち上げ
- デザインサービス事業の強化

PAL
TEK 今後に向けて

- 既存ビジネスの拡大
- 新規取扱商材の拡充
- スマートグリッド事業の本格立ち上げ
- デザインサービス事業の強化

PAL
TEK 既存ビジネスの拡大

PLDビジネス

- 過去にデザインしたプロジェクトが量産段階に
 - 通信機器、放送機器、計測機器、医療機器
- 新規デザイン・ウインの加速

アナログビジネス

- 複数のアナログ半導体メーカーの立ち上げ準備中
- 民生機器・産業機器向けの強化

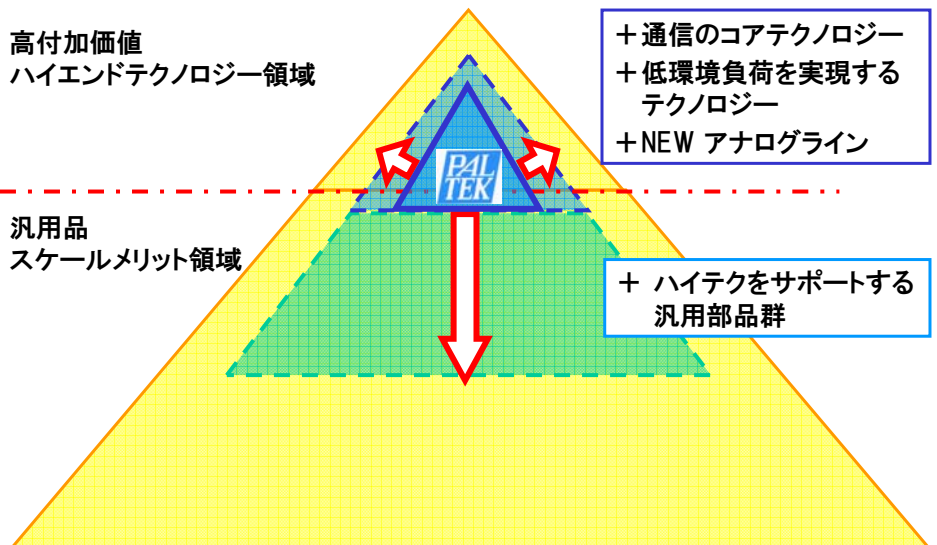
ASSPビジネス

- 通信インフラ、通信端末(スマートフォン)向け
 - タッチパッド、その他基幹部品
- インタフェース関連
 - サーバー・ストレージ、放送機器

PAL **TEK** 今後に向けて

- 既存ビジネスの拡大
- 新規取扱商材の拡充
- スマートグリッド事業の本格立ち上げ
- デザインサービス事業の強化

PAL **TEK** 新規取扱商材の拡充

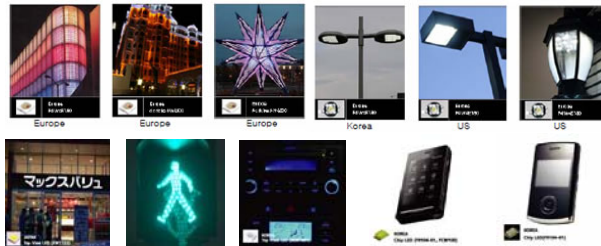


PALTEK 新規取扱商材の拡充

ソウルセミコンダクター社(ソウル半導体)



- LEDのチップからパッケージまですべてのソリューションを提供する専門メーカー(本社:韓国ソウル市)
- 2009年度売上: 4500億ウォン(約335億円)、LEDメーカーのTop4
- 照明機器(装飾照明、工場照明など)、OA機器、通信機器端末、家電機器、産業機器等に向けて幅広くLEDを供給可能に

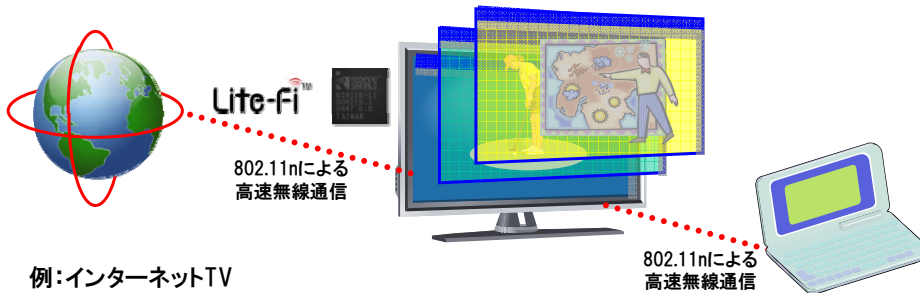


PALTEK 新規取扱商材の拡充

レッドパインシグナルズ社



- 802.11nワイヤレスLAN(実効速度で100Mbps以上)に対応のチップセットとモジュール
- 超消費電力、長期供給、少数対応が強み
- コンシューマ市場だけでなく、エンタープライズ向け、組み込み機器向け等で引き合いあり



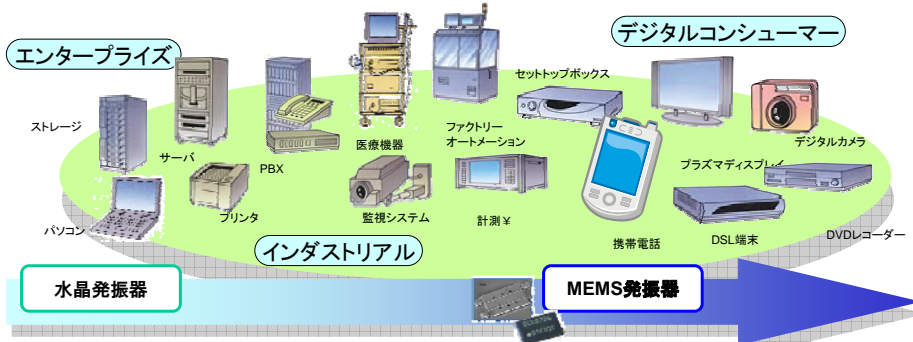
例:インターネットTV

PAL **TEK** 新規取扱商材の拡充

ディセラ社



- MEMS発振器: デジタル回路において、動作する際に、タイミングを取る(同期を取る)ために必要不可欠な製品
- 水晶発振器に比べ、コスト、納期、信頼性など様々な点で優れる
- ほぼすべての電子機器に提案可能



PAL **TEK** 今後に向けて

- 既存ビジネスの拡大
- 新規取扱商材の拡充
- スマートグリッド事業の本格立ち上げ
- デザインサービス事業の強化

PALTEK スマートエネルギーソリューションのターゲット

- スマートグリッドネットワークについて、IT支出が急拡大するのは2015年以降になるとみられている

【PALTEKのアピール&アプローチ】

- 2010年6月：スマートグリッド展2010Iに出展
 - 6000名以上のお客様にご来展いただき、情報提供・交換
- 2010年7月：スマートグリッドセミナー開催
 - 官公庁含む、複数名のキーパーソンと接触、コネクション形成
- 2011年3月：国際スマートグリッドEXPO出展予定
- 2011年6月：スマートグリッドセミナー開催予定

FYE2010 Results Reporting
29
© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

PALTEK スマートエネルギーソリューションの強化

2010年の成果と今後の展開

- (株)iDと東北大学との共同研究が経済産業局委託事業に採択
 - 次世代工場エネルギー管理システムの開発を行っていく
- 福岡スマートハウス・コンソーシアムに加盟
 - スマートハウスの実証実験に参加し、無線ネットワークアプリケーションを構築していく
- ソーラーシミュレーター(仮称)の開発着手
 - dSPACE社のシミュレーターと、PALTEKがFPGAビジネスで培ってきたHILS (Hardware in the Loop Simulation)を融合し、ソーラーパネルにおける発電量のシミュレーション、電力制御を可能にするシステムの開発に着手
- ADD社との代理店契約締結
 - 欧州のスマートメーターで実績のあるPRIME規格に準拠した低速PLC(電力線通信)の取扱い、プロモーションが可能に

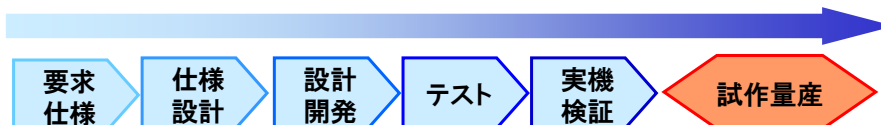
FYE2010 Results Reporting
30
© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

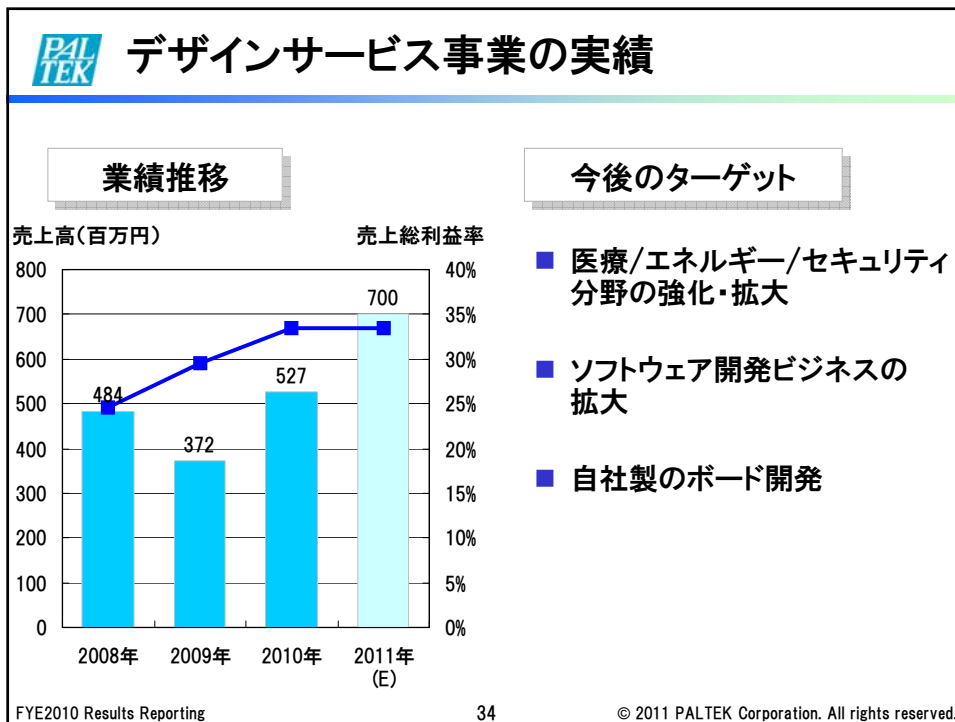
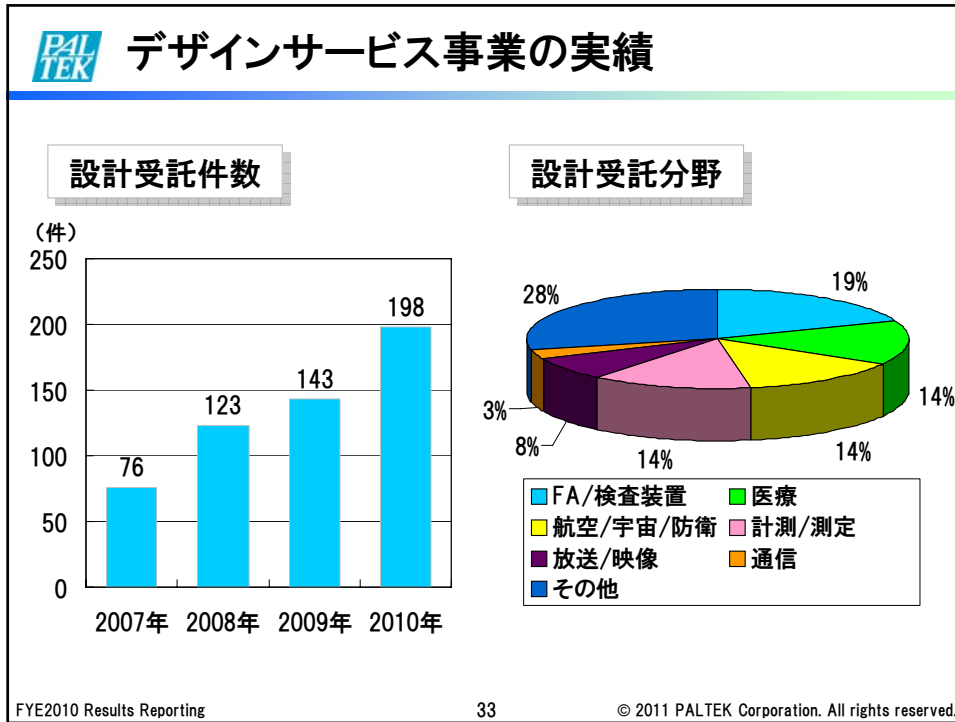
PAL **TEK** 今後に向けて

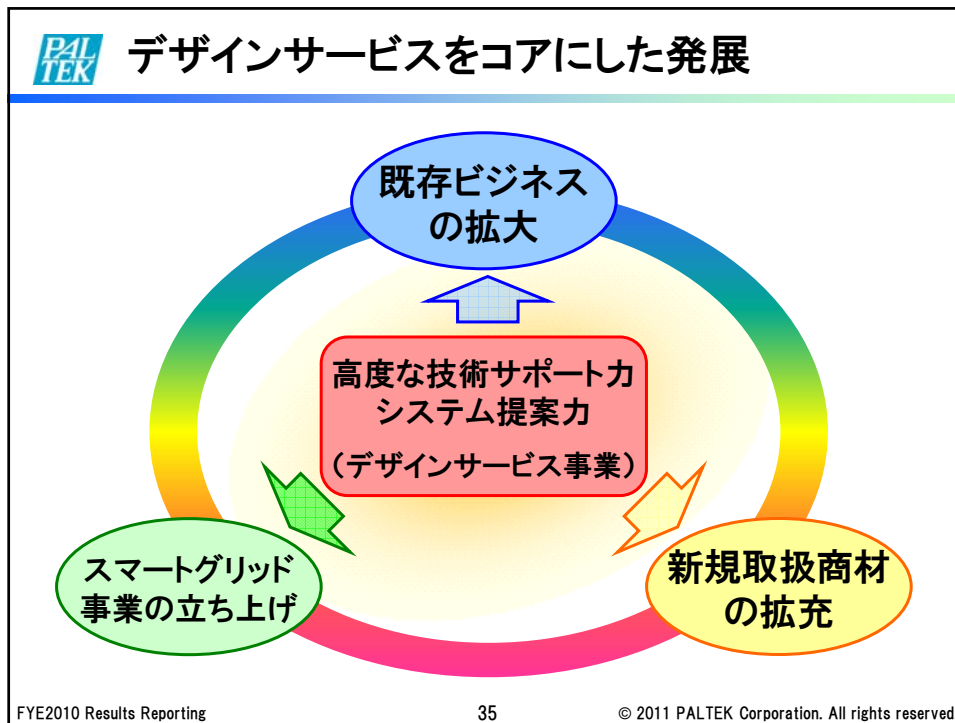
- 既存ビジネスの拡大
- 新規取扱商材の拡充
- スマートグリッド事業の本格立ち上げ
- デザインサービス事業の強化

PAL **TEK** デザインサービス事業とは

- 製品の仕様検討段階から製品実現に向けた提案から製品評価・試作量産までを設計受託
 - 試作・量産ボード設計サービス
 - ハードウェア開発サービス
 - ソフトウェア開発サービス







2011年12月期 剰余金配当の方針

配当方針

- 利益配分については、経営基盤の強化や将来の事業展開を考慮し、適正に配分
- 配当金については、安定的な配当を維持しながら、業績に対する配当性向を勧案

配当金

- 上記配当方針に基づき、期末配当金は、1株5円を予定

FYE2010 Results Reporting 36 © 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

 IRの窓口

以下の担当までお問い合わせ下さい。

柴崎 由記（総務グループ IR担当）

株式会社PALTEK

〒222-0033

横浜市港北区新横浜2-3-12 新横浜スクエアビル

TEL :045-477-2016

FAX :045-477-2012

E-mail :ir@paltek.co.jp

 本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したもので、当社グループは、これらのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避及び発生した場合の対応に努める所存であります。

なお、本資料においては、将来に関する事項が含まれておりますが、当該事項は当連結会計年度末現在において判断したものであります。

また、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

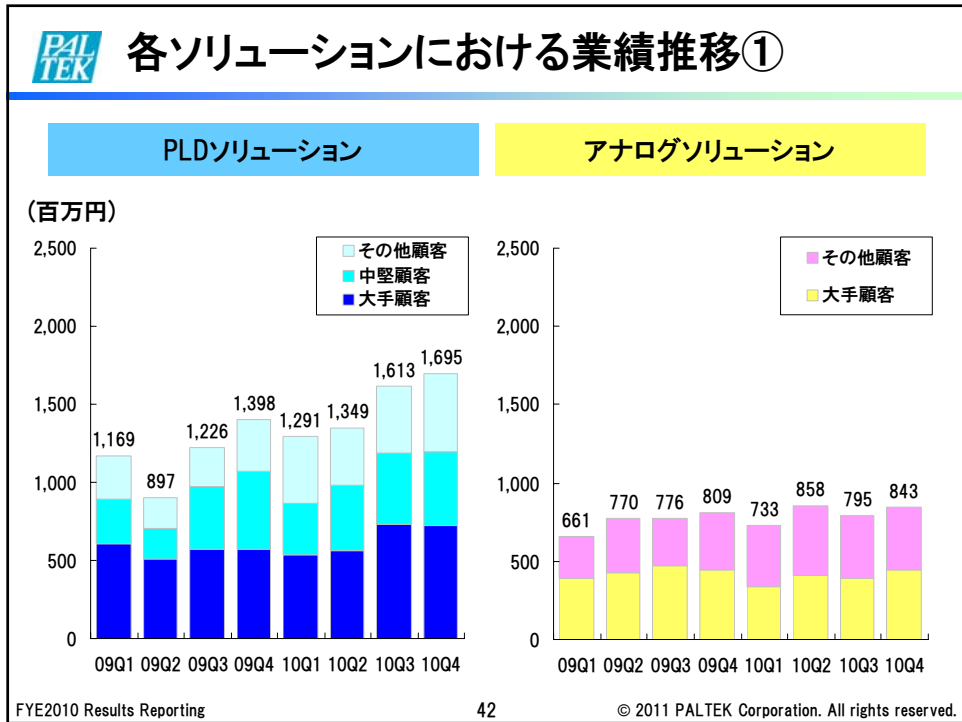
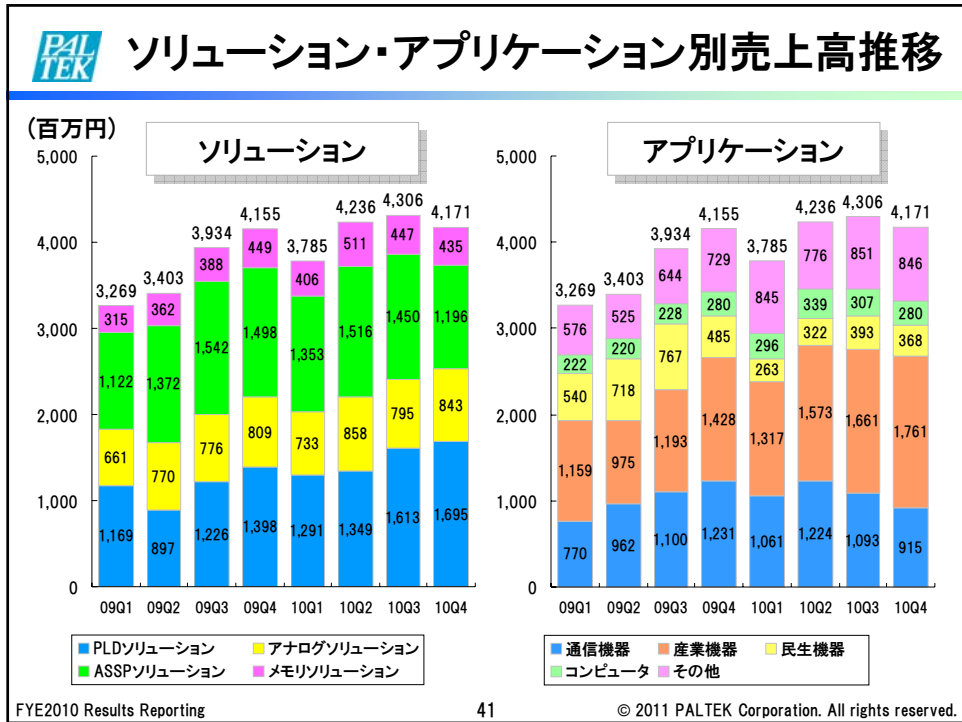
- ① 国内エレクトロニクス業界の急激な景気変動や需要動向の変化
- ② 仕入先の代理店政策の見直しや再編等により取引関係の継続が困難となった場合
- ③ 不測の事態による当社グループの情報資産が流出した場合
- ④ 為替相場の急激な変動
- ⑤ 新規仕入先商品の立ち上がりの遅れが生じた場合
- ⑥ 顧客の日本国内での製品開発案件が更に海外へシフトし、当社グループの販売活動が及ばない地域へ移管された場合

参 考 資 料

PAL 2011年12月期 ソリューション別業績予想
TEK

通期業績予想

(百万円)	2010年12月期 実績			2011年12月期 予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
PLD	2,640	3,309	5,950	3,400	4,000	7,400
アナログ	1,592	1,638	3,231	800	1,050	1,850
ASSP	2,870	2,647	5,518	2,950	3,700	6,650
メモリ	918	882	1,800	850	1,250	2,100
売上高合計	8,021	8,478	16,499	8,000	10,000	18,000
営業利益	147	175	322	40	290	330



PAL 各ソリューションにおける業績推移②

ASSPソリューション

メモリソリューション

(百万円)

